【別紙様式】

# 令和５年度教育指導の重点及び学校経営計画

| 学校番号 | 学　　校　　名 |
|---|---|
| ５６ | 益田清風高等学校 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学校教育目標 | 【教育目標】　理想を掲げ、主体的に考え行動できる、心豊かでたくましい精神をもった人間の育成を図る。<br>【めざす学校像】地域に学び、地域と育ち、地域に貢献する学校<br>１.進路実現に向けて、よく勉強する学校　２.部活動や学校行事に真剣に取り組む学校　３.端正な身なりで、明るい挨拶のできる学校 | | |
| スクール・ポリシー | 『育てたい生徒像』<br>グラデュエーション・ポリシー（ＧＰ） | 『生徒をどう育てるか』<br>カリキュラム・ポリシー（ＣＰ） | 『どんな生徒を待っているか』<br>アドミッション・ポリシー（ＡＰ） |
| | ・社会の一員としての自覚を持ち、自ら学び、考えることを通して、進展する社会に主体的に対応できる生徒<br>・一人一人の興味・関心や能力・適性を活かし、豊かな創造力を培い、生涯にわたってグローバルな視点で学習できる生徒<br>・地域の人々に対する思いやりやふるさとの文化や自然を愛する心を育み、多様な人々の互いの人格を理解し、協働して課題解決ができる生徒 | ・課題発見力・課題解決力を育成するための多彩な科目による「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進<br>・地域と連携し、他者と協働できる豊かな人間性を育む「探究的な学び」や教科学習、ＩＣＴの活用による、コミュニケーション能力と発信力の育成<br>・将来のキャリア形成につながる幅広い基礎的学力を身につけ、生徒の個性や長所を伸ばし、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施 | ・中学校で学んだ基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、より高度な学力を身につけたい生徒<br>・お互いの個性を認め、異なる文化や歴史を尊重できる豊かな感性や、たくましく生きるための力を身につけたい生徒<br>・地域と連携した探究活動等の多様な活動に取り組むことを通して、理解力、思考力、協働力、探究力を身につけたい生徒 |

| 教育指導の重点<br>（今年度の具体的な重点目標） | 重点目標の達成に必要な具体的取組、方策 | 達成度の判断、判定基準あるいは評価指標 |
|---|---|---|
| １　教科指導の重点<br>(1) 教科の特徴を生かし、学習意欲を喚起し深い学びを得る授業の推進<br>(2) 学科の特性に応じた生徒の将来につながる授業の推進<br>(3) 授業規律・学習環境を大切にするとともに、見通しをもった授業の推進 | ①　「育みたい資質・能力を引き出せる観点別評価の研究」、「よりよい教育実践のためのＩＣＴ（情報通信技術）の有効活用」を本年度の学習指導における校内の全校統一テーマに設定し、学習指導内容の精選及び生徒の学習意欲の向上に努めます。<br>②　①の推進のために、教員間の研修を重ね、授業の改善に取り組みます。<br>③　「目標を明確にした授業」「生徒が主体的に取り組む授業」「言語活動の活発な授業」を継続して実践し、その取り組みを高める支援を推進します。 | ❶　「学習目標を明確にした授業」「言語活動の活発な授業」により、生徒の学習意欲が向上し、定期考査ごとの成績不振生徒数が減少する。<br>❷　ＩＣＴの有効活用に関するアンケートで、昨年度比を上回る。<br>❸　生徒による授業評価を実施し、授業への満足度が平均８０％以上となる。 |
| ２　生徒指導の重点<br>(1) 学校規律、授業規律の確立<br>(2) 自他の人権や生命を尊重する意識の確立<br>(3) 問題行動等（いじめを含む）の未然防止と事後指導の充実 | ①　登下校指導、身だしなみ指導、時間厳守、授業態度などの生活指導において、職員間の情報共有を図り、生徒に指導します。<br>②　いじめ調査や生徒観察により、職員の共通理解を図り、情報共有することにより、いじめの未然防止に努めます。また、情報モラル教育を充実させ、情報モラル（SNSの正しい使用等）意識を高めます。<br>③　問題行動の未然防止に努め、生徒への指導を行います。また、関係職員と外部専門家等との連携を密にし、早期発見・早期対応・解決に努めます。そして、その行為の背景を理解しつつ、生徒の将来を見据えた事後指導を粘り強く行います。 | ❶　規範意識をもち落ち着いた学校生活が送れている。また、正しい服装の着こなしができている。<br>❷　いじめ問題や情報モラル問題が発生しない。もしくは、ごく些細な初期のいじめ問題でも見逃さず、早期対応ができている。<br>❸　年3回以上の情報モラル啓発活動を行う。 |

| | | |
|---|---|---|
| 3　進路指導の重点<br>(1) 情報提供･ガイダンス機能の充実<br>(2) キャリア教育の推進<br>(3) 地域を活性化する人材育成 | ①　地元企業ガイダンスや進学ガイダンス、職場体験学習、企業見学会地元社会人講話を実施します。<br>②　キャリア・パスポートを活用し、学校生活を通して、進路及び卒業後のキャリアに必要な能力を養成します。<br>③　保護者対象進学・就職説明会や、地元企業ガイダンス、地元企業の方による模擬面接を実施します。 | ❶ 学校アンケートの進路関係項目の評価が向上する。また、行事ごとに実施するアンケートで生徒及び講師等の評価が向上する。<br>❷ 生徒が学校生活で目標を定め、行動を起こし、それを振り返ることで、自らの成長を実感することができる。<br>❸ 地元就職率が向上する。 |
| 4　特別活動の重点<br>(1) 生徒会活動の活性化<br>(2) ボランティア活動を通した地域貢献<br>(3) 部活動、学校行事に真剣に取り組む姿勢 | ①　学校行事（球技大会、文化祭、三送会）への取り組みを通して、生徒が自発的、自治的に考えて行動できるように支援します。地域との連携を意識して活動します。<br>②　部活動への自主的な取り組みを通して､生徒が自ら成長できる機会と実感が得られるよう支援します｡地域との関わりを意識して活動します。<br>③　生徒会執行部を中心とした日常的な生徒会の取り組み､ボランティア活動への自発的な参加を促し、地域社会の一員としての自覚を深め、地域社会と積極的に関わる姿勢、地域に貢献する心を育てます。 | ❶ 行事の取り組みが生徒主体となっている。生徒自ら考える姿勢、現状に満足せず改善しようとする姿勢が見られる。地域連携を深めていく姿が見られる。<br>❷ 部活動への取り組みが生徒主体になっている。部活動を通して人間性を高め成長しようとする意識・姿勢が生徒に見られる。地域と連携した活動への取り組みが見られる。<br>❸ 地域社会の一員としての自覚が生徒に見られる。地域社会と積極的に関わりに貢献する意識をもち、実際の行動に移している。 |
| 5　保健安全の重点<br>(1) 心身の健康についての知識と実践する力の養成<br>(2) 「生命を守る」訓練「助け合う」行動に繋がる教育の推進<br>(3) 安全面等での地域との連携 | ①　自らの身体と精神の健康を考え、生活を見直す保健安全教育、感染症予防を中心とした保健指導に取り組みます。<br>②　災害に対し、自らの生命を守り、適切な判断・行動のできる生徒の教育に取り組みます。<br>③　環境美化に関わり貢献できる生徒の行動習慣を身につけ､地域の避難拠点としての学校づくりに取り組みます。 | ❶ 心身の健康に関わる諸調査を実施して、統計的な数値にて判断する。<br>❷ 学校の体制づくり、訓練または教科における指導などを総括的に評価する。<br>❸ 環境美化に対して生徒会活動による積極的な活動をおこない、外部の評価を参考に判断する。 |